

様式1(主な取組)

活動指標名	基本計画策定・課題整理				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	基本計画策 定 課題整理	—	100.0%	30,900	順調
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
<p>Jリーグ規格スタジアム整備については、県と那覇市で連携して取り組んでいく必要があることから、スタジアム整備のあり方等について、引き続き協議を行う。</p>						<p>スタジアム整備は、県全体の観光振興やスポーツ振興等に資するものであることから、平成28年11月より基本計画の策定に着手した。平成29年8月までに全6回の委員会を開催し、スタジアムの規模や複合機能のあり方、導入機能等について検討を行い、「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画」を策定した。</p>				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・平成29年8月までに全6回の委員会を開催し、スタジアムの規模や複合機能のあり方、導入機能等について検討を行い、「Jリーグ規格スタジアム整備基本計画」を策定した。

○外部環境の変化

—

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・スタジアム整備を進めていくためには、平成29年8月に策定した基本計画において示された課題について対応していく必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・平成29年8月に策定した基本計画において示された課題について検討を行うため、平成30年度において調査事業を行う。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ウ	国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備	施策	① 国際交流拠点形成に向けた受入機能の強化
			施策の小項目名	○交流拠点施設等の整備
主な取組	大型MICE施設の整備		実施計画記載頁	353
対応する主な課題	②国内外の各地域において、MICE誘致競争が年々拡大している中、既存施設では収容が不可能な1万人規模の会議開催案件も発生しており、国際的な交流拠点施設の整備が必要である。加えて、案内板の多言語表示化をはじめとした外国人の受入環境整備にも取り組む必要がある。			

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
これまで規模の制約から開催できなかった大型催事を取り込むため、大型MICE施設を早期に整備する。						
実施主体	県、事業者	設計・工事・開業準備に向けた取組				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況 (単位:千円)

予算事業名	大型MICE受入環境整備事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
県単等	委託	—	—	41,551	7,040,437	70,123	356,165	一括交付金(ソフト)	○H29年度: 交通量需要予測調査等及び下水道事業計画変更等業務を実施した。 ○H30年度: 大型MICE施設の基本設計を実施する。
予算事業名	—						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	
									○H29年度: ○H30年度:

様式1(主な取組)

活動指標名	設計・工事・開業準備に向けた取組				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
		—	—	—	—	実施	—	66.7%	70,123	やや遅れ
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
MICE関連人材の育成や、MICEの誘致戦略を盛り込んだ「沖縄MICE振興戦略(案)」を策定し、経済界・産業界、大学等研究機関、学会・協会等の各種団体、行政関係団体の連携体制を構築し、戦略的なMICE振興を図る。						MICE関連人材の育成や、MICEの誘致戦略を盛り込んだ「沖縄MICE振興戦略」を策定し、経済界・産業界、大学等研究機関、学会・協会等の各種団体、行政関係団体の連携体制を構築した。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・国は、大型MICE施設の基本設計に係る沖縄振興特別推進交付金の交付決定には「根拠ある需要収支見込み」と「周辺受入環境整備の見通し」が整理されていることが必要としている。

○外部環境の変化

・震災復興事業やオリンピック需要等による建設需要の高まり、消費税増税による建設コストの増が予測される。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・国が課題とする「根拠ある需要収支見込み」と「周辺受入環境整備の見通し」について、引き続き、丁寧に説明を重ねる必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・国内外のMICE主催者、MICE関連事業者及び投資開発事業者等並びに国内の他の同規模施設等の調査協力を得ながら、引き続き、国の課題に応える資料の作成と説明に努める。

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

施策展開	4-(1)-ウ	国際交流拠点の形成に向けた基盤の整備	施策	① 国際交流拠点形成に向けた受入機能の強化	
			施策の小項目名	○交流拠点施設等の整備	
主な取組	大型MICE施設周辺の受入環境の整備			実施計画記載頁	353
対応する主な課題	②国内外の各地域において、MICE誘致競争が年々拡大している中、既存施設では収容が不可能な1万人規模の会議開催案件も発生しており、国際的な交流拠点施設の整備が必要である。加えて、案内板の多言語表示化をはじめとした外国人の受入環境整備にも取り組む必要がある。				

1 取組の概要(Plan)

取組内容		年度別計画				
		29	30	31	32	33
大型MICE施設の整備にあたり、空港や宿泊施設等からの交通利便性を確保するとともに、地域と一体となった取組や、周辺エリアにおける宿泊施設、商業施設等の立地に取り組む。						
実施主体	県、市町村	マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				
担当部課【連絡先】	文化観光スポーツ部MICE推進課 【098-866-2077】					

2 取組の状況(Do)

(1)取組の進捗状況							(単位:千円)		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
予算事業名	大型MICE受入環境整備事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: 交通量需要予測調査等及び下水道事業計画変更等業務を実施した。	
県単等	委託	—	—	41,551	7,040,437	70,123	356,165	一括交付金(ソフト)	○H30年度: 大型MICE施設の基本設計を実施する。	
予算事業名	観光地形成促進地域推進事業						H30年度		平成29年度活動内容と平成30年度の活動計画	
主な財源	実施方法	H25年度決算額	H26年度決算額	H27年度決算額	H28年度決算額	H29年度決算見込額	当初予算額	主な財源	○H29年度: —	
県単等	委託	—	—	—	—	—	6,200	県単等	○H30年度: 大型MICE受入環境整備検討業務を実施する。	

様式1(主な取組)

活動指標名	マリンタウンMICEエリアまちづくりビジョンの実施に向けた関係機関との調整及び実施				H29年度			H29年度 決算見込額 合計	進捗状況	活動概要
	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
実績値	—	—	—	—	関係機関 との調整	—	100.0%	70,123	順調	大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた港湾計画、都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			進捗状況の判定根拠と取組の効果 関係部局との調整のうえ、大型MICE施設整備及び宿泊施設誘致に必要な港湾計画変更手続きを実施し、平成30年2月に計画変更の公示が行なわれた。
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
実績値	H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	実績値(A)	計画値(B)	達成割合 A/B			
活動指標名	—				H29年度					
(2)これまでの改善案の反映状況										
平成29年度の取組改善案						反映状況				
MICEエリア周辺に計画的に宿泊施設や商業施設が誘致できるよう、港湾計画、都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と連携を図る。						大型MICEエリア振興に関する協議会等において、大型MICE受入環境整備に向けた港湾計画、都市計画及び交通計画に係る関係部局や地元自治体と情報共有、課題整理等を行なった。				



様式1(主な取組)

3 取組の検証(Check)

(1)推進上の留意点(内部要因、外部要因の変化)

○内部要因

・関係機関や地元自治体等の地域と一体となり、MICE周辺エリアでの宿泊施設、商業施設の立地を促進させる必要がある。

○外部環境の変化

・MICEの開催ニーズは年々多種多様化してきており、今後も変化を続けていくものと見込まれるが、主催者や参加者の観点から、MICE施設への移動利便性向上や周辺受入環境整備については、今後も変わらず求められる。

(2)改善余地の検証(取組の効果の更なる向上の視点)

・大型MICE施設の安定的な運営(稼働率の向上)推進においては、MICEエリアとして利便性及び機能性の向上を図ることを目的として、交通アクセスの改善、宿泊施設・商業施設の誘致を図る必要がある。

4 取組の改善案(Action)

・「大型MICEエリア振興に関する協議会」の下部組織である、関係各班長を構成員とする「作業部会」において、まちづくり、交通対策、観光振興の3つのテーマで協議することとしており、情報共有を図りつつ各課題について集中的に取り組む。